

中国菓子市場の最新トレンドと北九州市発！食品・飲料WEB商談会のご案内

ポイント

- ・ 景気減速化でも、日本産の菓子市場は堅調に回復
- ・ 市場は、中国未上陸の新しい商品を求めている
- ・ 中国の有力バイヤーとオンラインで結ぶ、「WEB商談会」を企画中！ふるってご応募を！

Topic 01 中国菓子市場の最新トレンド

■ 日本産菓子(米菓含む)の対中輸出額推移と市場シェア



項目 / 年次	2020	2021	2024	2025
中国全体の菓子需要 (市場規模)	約22.4兆円	約23.6兆円	約25.4兆円	約26.8兆円
日本産の総シェア (%)	0.027 %	0.032 %	0.022 %	0.024 %

※中国市場規模の円換算レートは各年平均（1元＝15.5～21.5円）を目安に算出

【出典】 日本産輸出額：財務省「貿易統計」

中国市場規模：中商産業研究院、iiMedia Researchデータ

■ 中国菓子市場の最新トレンド

1. 一時的下落からの需給回復局面

対中菓子輸出額は2024年に一時的な買い控え等で、57.1億円まで下落したものの、2025年には65.4億円（前年比＋14.5%）に回復。訪日旅行の一部が制限されている中、現地需要は底堅い。

2. 「未上陸の希少性」を求めるニッチ市場

日本産のシェアは0.024%と僅かだが、大都市の若年・ファミリー層を中心に「国内未流通の食体験や地方独自の味」を自ら探し、購入する志向が強い。

独自性のあるプレミアム製品であれば、まずはニッチな指名買い市場を狙い、それを足掛かりに市場への浸透を図っていくことも、巨大な中国市場攻略の一手。

3. 健康志向の定着と安全・高品質需要

「無糖、低塩、減油」や無添加が購買基準のひとつ。景気減速下でも健康や食の安全への支出は維持されており、日本産の安心感と素材を活かした商品などは、特に現地のニーズにマッチ。

Topic 02 中国の有力バイヤー・大手日系スーパーと直接つながる「WEB商談会」を開催

■ 【北九州市大連事務所】食品・飲料WEB商談会のご案内

回復期にある中国市場へのアプローチを、渡航などのコストを最小限に抑えて実現するため、市国際ビジネス戦略課、サービス産業政策課の協力を得て、市内の事業者を対象に、WEB商談会を開催します。奮ってご参加を！

詳細・申込： KTIセンター 中国食品・飲料WEB商談会

検索

URL: <https://www.kti-center.jp/shinchak/entry-1218.html>

■ 事業概要：【北九州市大連事務所】食品・飲料WEB商談会

【本事業の特徴】

- ・ 有力バイヤーとマッチング：上海・蘇州・大連の有力バイヤー等（7社）が参加。
- ・ 申請の手厚い無料支援：中国輸出に必要な「シングルウィンドウ」登録手続きをサポート。
- ・ 出張不要・参加無料：オンライン（Teams等）で現地と直接商談が可能。

【主要スケジュール】

- ・ 7月31日（金）：参加申込・シート締め切り
- ・ 8月末：現地バイヤー選考および結果通知
- ・ 9月中：通過商品のサンプル現地発送
- ・ 10月中：WEB商談会本番（個別調整）

【対象品目】一般食料品、加工食品（賞味期限原則6ヶ月以上）、酒類、飲料など（1社最大5品目）

📞 お問い合わせ：北九州市国際ビジネス戦略課（093-551-3605） / 北九州市大連事務所（+86-411-8360-7298）

本稿の担当＝北九州市大連事務所 山口 (suozhang@kitakyusyu-dl.com)

本稿に対するご感想、中国に関するお問合せなど何かありましたらぜひご連絡ください。